

新聞に親しみながら、新聞の活用力を高めるにはどうしたらいいか

指定校1年次 山ノ内町立山ノ内中学校 館林 弘毅

1 本校のNIEの現状

本校は、平成22年度に“長野県NIE研究指定校”に認定された。しかし、それ以前にも、さまざまな教育活動で“新聞(新聞社の発行する新聞、自分たちが新聞を制作するなど)”を活用してきた。以下にその概要を紹介する。

① 社会科の授業での新聞スクラップづくり

3年生になって公民的分野の学習が始まるのに合わせて、スクラップブックを1人1冊用意させ、1週間に1度、自分の興味・関心に沿った1～2の新聞記事を切り抜き、その要約と自分自身の意見を入れたコメントを書かせて提出させる。

記事の内容に制限はないので、社会面を中心に、政治、経済、スポーツ、文化など、あらゆる分野の記事が取りあげられる。

② 学級通信での新聞記事の紹介

本校は各学年4学級と特別支援学級2学級の合わせて14学級だが、多くの学級で学級担任が作る学級通信が発行されている。月に数回発行のものからほぼ毎日発行のものまで、その発行頻度はまちまちだが、その中で、新聞で取りあげられた内容にふれたり、新聞記事を紹介したりするものが見られる。

③ 生徒会活動(情報委員会)による本校関係記事を中心とした切り抜きの掲示

本校は、部活動が盛んな学校で、とりわけスキー部は全国レベルの大会で活躍しており、地元のローカル新聞のみならず、信濃毎日新聞のスポーツ面でも結果記録にとどまらず、記事として取りあげられることが多い。その記事を全校生徒が通る廊下の壁面に掲示し、全校生徒の意気を高めている。

また、本年度で25周年になる、小澤征爾氏によるコンサートに関する新聞記事も校長室入り口の壁面に掲示し、生徒はもちろん、来校者の方がたにも見ていただき、本校の特徴を理解していただく一助になっている。

④ 行事、総合的な学習のまとめとしての新聞制作

多くの学校でも取り組まれているように、本校でも1年のキャンプ、2年の登山、3年の修学旅行などの行事、および縦割りの総合的な学習の時間のまとめ、発信の一つとして、「〇〇新聞」づくりをしてきている。

このように、さまざまな教育活動の中で、“新聞”を活用してきている。しかし、これまで続けられてきた活動を継続している場合が多く、“新聞“を活用する良さを十分に吟味したり、計画的、系統的に活用したりしているかどうかとなると、若干心許ない面もある。

2 NIE実践のねらい

本校では、前述のとおり、これまでもさまざまな教育活動の中で“新聞”を取り入れてきた。“長野県NIE研究指定校”に認定されたのを機会に、これまでの活動に加えて、意図的、計画的に、教育活動で“新聞”を活用することを目指した。具体的には、つぎの3

点になる。

① より多くの先生、生徒に対して、“新聞”に親しむ機会を増やす。

意図的、計画的な“新聞”活用の基盤となるように、“新聞”に対する抵抗感を少なくし、新聞を読んだり、新聞を作ったりする活動に取り組むやすくなるように、これまで以上に新聞を目にする機会を増やしたい。

② “新聞”を通して、生徒ひとりひとりの「課題を設定する力」、「問題を解決する力」、「表現したり、コミュニケーションを築いたりする力」を高める。

教科等の単元(授業)を取りあげて、意図的・計画的に「つきたい力」を明確にした展開を実践してみる(詳細は、以下の「3 研究の概要」参照)。

③ “新聞”を活用したことによって、生徒にどのような変化(成長)が見られたかを確認する。

これまで取り組んできた“新聞”を取り入れた活動や、上述①・②の本年度のねらいに沿った活動の効果を分析して、今後の教育活動に生かしていく。

3 研究の概要

(1) 実践した教科等

3年 社会科(個人選択; 週1時間)

授業者; 白井 理 先生

(2) 新聞の提供状況

① 社会科(必修; 週2.5時間+学校選択; 週1時間)で、新聞スクラップづくりをしている。

② 社会科(個人選択選択; 週1時間)の際、教師が新聞(新聞提供事業による新聞)を持ち込んで、それを生徒が閲覧する。必要に応じて、信濃毎日新聞データベース「N I E指定校会員」制度によるインターネットを活用したデータベース検索を実施する。

③ 職員室前廊下の閲覧用新聞(新聞提供事業による新聞)および、N I E担当職員による「一面を見比べよう」、「コラムのテーマを考えよう」などの廊下壁面掲示。

(3) 新聞を取り入れた実践をする上で特に工夫をしたこと

※ 以下、①~④は学習指導案から抜粋した。

① 単元名; 自分が作ったスクラップ新聞をさらによいものにしよう!

② 単元の目標;

ア 友だちが制作したスクラップ新聞を見て、何を訴えたいかを理解しながら、その表現や内容などの優れているところ、もっと工夫したほうがよいところなどをアドバイスすることができる。

イ 自分の制作したスクラップ新聞のよいところや問題点について、制作にあたって抱いていた自分の願いにそって振り返り、友だちのアドバイスを参考にしながら、自分の願いがより伝わりやすいスクラップ新聞に改良する見通しを持つことができる。

ウ 意欲を持って、新聞記事やインターネット上のデータベースを活用して、自分の願いがより伝わりやすいスクラップ新聞を改良することができる。

エ 時事問題を始め、社会でおこっているさまざまなできごとに対して、興味・関心を持つことができる。

③ 単元計画；（5時間展開）

段階	○学 習 活 動	◎支 援・指 導、☆評 価	時間
I	<p>○ 自分の制作したスクラップ新聞をもう一度見返して、良い点や工夫が必要な点を考えてみよう。</p> <p>○ 自分や友だちが制作したスクラップ新聞を見て、感想を出し合おう。</p>	<p>◎ 自分の制作したスクラップ新聞を見ながら、学習カードに、①記事のタイトル・②記事の内容・③その記事で伝えなかった自分の思いを書かせる。</p> <p>◎ 友だちのスクラップ新聞を見て、①疑問に思ったこと・②自分が知っていることと違ったこと・③発表を聞いての感想・④良かった点・⑤その他を書かせる。</p> <p>☆ 自分の知っていることなどをもとに、友だちのスクラップ新聞の良さや改善点(疑問に感じていること)などを、学習カードに書くことができたか。</p>	第1・2時
II	<p>○ グループに分かれて、自分のスクラップ新聞をより良くするためのアドバイスを聞き合い、自分のスクラップ新聞を改良する方法(内容面・構成面・表現方法面など)について、見通しを立てよう。</p>	<p>◎ 友だちからもらったアドバイスをもとに改良する視点として、①もらったアドバイス・②どこに入れて、どんなつながりにするか・③そのためにどんな記事や情報が必要かを、4人1組のグループで2～3つの作品について話し合わせる。</p> <p>◎ 表現方法面のみでなく、内容面・構成面などにも目が向くように支援する。</p> <p>☆ 友だちと意見交換しながら、そのアドバイスを理解したうえで、自分のスクラップ作品をよりよくするための改良の方法を学習カードの記入できたか。</p>	第3時（本時）
III	<p>○ 友だちからのアドバイスを生かしながら、自分で見通しを立てた改良方法に基づいて、新聞やデータベースなどを活用しながら、よりわかりやすいスクラップ新聞に改良しよう。</p>	<p>◎ 前時で見通しを立てた方法に沿って、吹き出しなどの方法を使って改良させる。</p> <p>◎ 内容面では、最近の2か月ほどの3紙新聞(朝日・産経・日経)や信毎データベースを活用し、記事を収集させる。</p> <p>☆ 単元当初のスクラップ新聞で伝えなかった自分の思いや、友だちのアドバイスを生かした改良方法を確認しながら、スクラップ新聞を改良することができたか。</p>	第4・5時

④ 本時案；

ア 主眼； スクラップ新聞の内容を更に深めるためにどんなアドバイスの吹き出しをどこに加えたらよいのかを考える場面で、友だちからの助言のメモや実際の作品を見合い、話し合うことにより、自分の作品をより良いものにするために必

要な付け加えや表現方法の工夫などの見通しを立てることができる。

イ 展開；

段階	学習活動	予想される生徒の反応	○指導・☆評価	時間	資料
問題把握	1 前時を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の作品をもう一度見返したな。 自分の伝えたかったことは、こんなことなんだな。 今日は吹き出しについて考えるんだな。 どんな吹き出しを入れようかな。 さらに伝わりやすい新聞にしたいな。 	○前時の活動を簡単に振り返る程度にする。	5	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習問題； スクラップ新聞をより伝わりやすくするために、友だちからのアドバイスを参考にしながら、どんな吹き出しをどこに入れたらいいか考えよう。 </div>				
問題の究明	2 友だちからのアドバイスを自分なりに整理する（内容面、構成面、表現方法のどの視点からの改善になるのかをはっきりさせる）。	<ul style="list-style-type: none"> このアドバイスは、こんなふうにかこう。 こんな所が足りなかったんだな。 このアドバイスを生かせば、より伝わる新聞になりそうだ。 このアドバイスはどういう意味だろう。 このアドバイスはどう生かしたらいいだろう。 どんな吹き出しを入れたらいいのかな。 読み手に伝わりやすくするには、どうしたらいいんだろう。 	○学習カードと友だちからのアドバイスを配り、自分なりの見通しを立てながら整理するように伝える。 ○自分が伝えたことを意識させながら、アドバイスを取り入れるように指導する。	20	・学習カード・友だちからのアドバイスカード
	3 グループに分かれて、実際の作品を見ながら、アドバイスを聞き合い、自分の新聞をよ	<ul style="list-style-type: none"> このアドバイスを、どこに入れたらいいのか悩んでいるんだけど。 こんな吹き出しを入れるつもりなんだけど、どうつなげたらわかりやすいつなが 	○自分が改善しようとしていることが、 ①内容面 ②構成面 ③表現方法	20	・スクラップ新聞の作品

	り良くするための見通しを立てる。	りになるだろう。 ・このアドバイスを生かしたいんだけど、どんなことを調べたらいいんだろう。 ・自分は、内容面の充実が必要なんだな。 ・構成面を工夫して、つながりをわかりやすくするとい いのかな。	なのかを理解しながら、見通しを立てられるように指導する。		
				☆評価； 次時にどんな吹き出しを、どこに入れるか見通しを立てることができた。	
整理	4 本時のまとめと次時の活動内容の確認をする。	・自分のスクラップ新聞の改善の見通しが立てられた。 ・アドバイスがし合えて良かったな。 ・今日の計画を元に、吹き出しを入れるぞ。 ・よりよい新聞になりそう。	○本時の活動について、感想を発表させる。 ○次時の活動について確認をする。	5	

⑤ 授業を振り返って；

ア アドバイス・カードについて

a アドバイスを書いた友だちのところへ直接行って、意味を聞いている生徒がいた。→ その生徒にとっては役立っていた。

b アドバイスを深めるという点では、アドバイスを書いた人の考えをどの程度理解しているか。→ 教師の生徒理解が十分だったか、また作品(新聞記事を含む)の読み込みが十分だったか。

c アドバイスを吟味する必要性→ 時間・スペース、本人の願い(テーマ)から見て、すべてのアドバイスに応える必要があるのか。

d アドバイス・カードを作成するとき、読み込み不足があるのか。

e アドバイス・カードを生かして工夫を考えると、「吹き出し」が共通認識されていたか。教師の方で、共通基盤の確認が不十分だったのかもしれない。

イ 友だちとの話し合いについて

a もっと、グループ(仲間)との話し合い活動を取り入れられないか。

b しかし、自分の作品を良くしたいと考えているときに、他の人のものにどの程度アドバイスできるか。

ウ 見通しを立てるために、アドバイスや自分のやりたいことは、A内容面からの補強(赤)、B構成面の検討(オレンジ)、C表現方法の工夫(青)に分けて、今



後の見通しを考えさせたのは、まだ初めてなので慣れていないが、適切な手だてだったのでは(内容面→吹き出し、構成面→矢印、表現方法→アンダーライン)。

実際にスクラップ新聞の基礎・基本の手順を踏んでいけば、指導をしなくても自然に出てくるものなのかもしれない。



4 NIE実践の内容

「3 研究の概要」にあげた事例のほか、つぎのような実践も試みた。

① 社会科の授業で新聞を使う。

公民的分野を学習している3年生の授業を中心に、資料として新聞記事を取りあげて学習する。

② 複数の新聞を見比べる。

複数の新聞(信毎・朝日・産経・日経の4紙)の同じ日の一面について、それぞれを見比べられるように、毎日貼り替えながら掲示する。

複数の新聞(信毎・読売・毎日の3紙)の同じ日のコラムについて、見比べながらテーマを考えられるように、一週間に一度貼り替えながら掲示する。



以前から継続して取り組んできた3年生を対象とした社会科の授業での新聞スクラップづくりと、上述①・②を組み合わせた実践により、以下のような生徒の姿が見られた。

(1) 視野の広がり… M・K生

- 環境問題には関心が高く、総合的な学習では、志賀高原で自然保護運動をしているボランティアグループの方がたと文通するなどの熱心な取り組みをみせる。また、選択社会では「壊れてゆく自然」をテーマにしたスクラップ新聞で、天候不順・原油流出・二酸化炭素半減・バイオ燃料の項目を取りあげた。

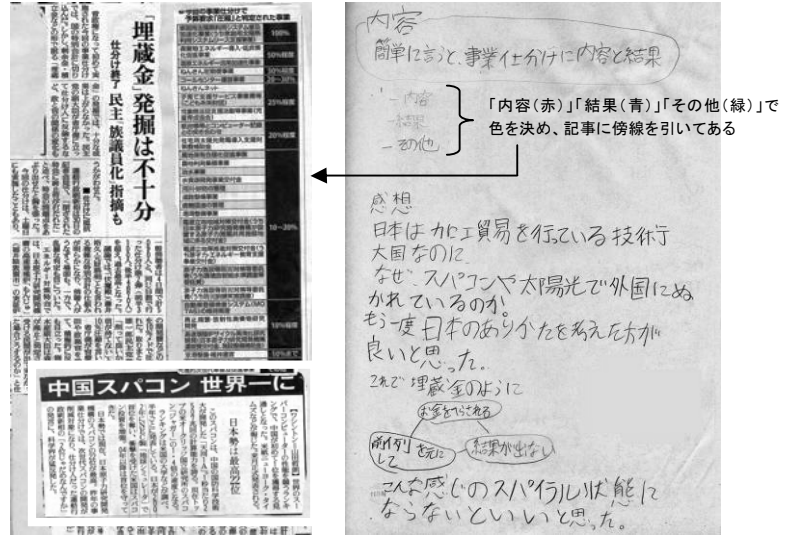
▼ M・K生が新聞スクラップで取りあげた内容およびそれに対するコメント一覧

回	見出し(地域)	コメント要約
1	急増 電子教科書 小学校用 28点発行へ	辞書で調べる楽しさが減る。自分は反対
2	原油流出 大西洋マグロ危機	アメリカ経済よりマグロの絶滅が心配
3	i Pad ついにゲット	読書革命だと思った。技術が発展して心配。
4	警察署に強盗「金を出せ」(気仙沼市)	逮捕に決まってる。彼の人生もったいない。
5	水難相次ぎ7人死亡(志摩市ほか)	同じ日に海や川で7人も死ぬなんて不思議。
6	「いじめ」3人書類送検へ(川崎市)	自分にされたら絶対やだ。
7	消防士3人集団で乱暴(長井市)	人をいじめるなら仲間に入ってしまうのか。
8	小6 長男を5時間暴行(松戸市)	母親のいない間の暴力は卑怯だと思う。
9	地下室に女性遺体 68歳男逮捕(大館市)	兄弟を殺すのは絶対いけないことだと思う。
10	NHK 受信料不払い強制執行申立(福島県ほか)	5人にだけ差し押さえは不平等だと思う。
11	APEC 将来は共同体 首脳宣言	(3)の [] 内参照

(2) 追究の深まり… Y・Y生

- ・ 初めに「中国スパコン世界一」という記事を見つけたが、コメントがうまく書けそうになかった。→翌日、「『埋蔵金』発掘は不十分」の記事、さらにそれに関係する「事業仕分け圧縮一覧表」も見つけて、3つの記事を合わせてコメントを記入する。

また、新聞記事に3色(赤-内容、青-結果、緑-その他)で色分けした傍線を引いてある。



▲ Y・Y生の新聞スクラップ(まるで小さなスクラップ新聞)

(3) 学習集団としての共通の課題づくり… M・K生 Y・Y生 ほか

- ・ 社会科の授業で、日本経済と外国との関係を学習する導入で、「TPP」についての4紙一面の扱いを比較しながら学習を始めた。
- ・ その授業のつぎの新聞スクラップで、「自由貿易」や「円高」に関する記事をスクラップしてきた生徒が4名出た。

・ M・K生「APEC 将来は共同体」； いくら関係とかいっても、結んでしまえば農業などの個人企業がどんどんつぶれてしまうから、やめた方がいいと思う。農業が少なくなれば、食料自給率も急激に少なくなると思うので、もっと農業を大切にしなければいけないと思う。

・ Y・Y生「TPP 自民内にも賛否」； 農家を守れば製造業の怒りを買って、製造業を守れば農家の怒りを買ってしまう。こういうことを考えると、議員はたいへんだった。でも、どっかで腹をくくらないといけない時がくる。今は農業者と製造業者で多数決を採れば、製造業者が勝てる時代で、政府はどちらを守るのだろうか？

5 研究のまとめ

2に掲げた本年度の「実践のねらい」の3点に即してまとめてみる。

- ① より多くの先生、生徒に対して、“新聞”に親しむ機会を増やす。

「新聞提供事業による新聞」職員室前の廊下に見覧できるように設置したり、廊下壁面へテーマに沿って掲示したりしたことにより、今までよりおおぜいの生徒、先生がたに見てもらえるようになった。しかし、設置場所や事前のPR等にはまだまだ課題があり、全校まで広がったとは言い難い面がある。

- ② “新聞”を通して、生徒ひとりひとりの「課題を設定する力」、「問題を解決する力」、「表現したり、コミュニケーションを築いたりする力」を高める。

3年選択社会で、単元名「自分が作ったスクラップ新聞をさらによいものにしよう!」で、「つきたい力」を明確にした展開を実践した。

その中で、友だちの作品を見て作成したアドバイス・カードを友だちに伝え合う活動を通して、「コミュニケーションを築きながら」、「自分の発信する作品の表現力を高め」、「問題を解決する見通しを立てる」ことができる体験を積むことができた。

しかし、もともと、どれだけ「自分の課題として位置付けていたのか」については、まだまだ改善の余地が残されている。

- ③ “新聞”を活用したことによって、生徒にどのような変化(成長)が見られたかを確認する。

これまで本校で取り組んできた内容と、本年度新たに取り組んだ内容を組み合わせ、新聞スクラップのレベルアップを試みたが、生徒のようすをできるかぎりていねいに記録してみた。

その中で、気になった部分に傍線を引くように指導したことにより、しっかりと読み込むようになり、色分けして引く生徒もおおぜい出てきている。これは、生徒の課題設定力、問題解決力、表現力が高まってきた姿につながると考えられる。

しかし、関心(視野)は広がるものの、視点は増えていないような例も見られる。共通の記事内容が出たときなどに、再度社会科の時間などにディベート的な話し合いの機会をとると、社会的事象に対する多角的なとらえができるようになるのではないかと思われる。

6 残された課題

長野県NIE研究指定校1年目の実践で、年度当初に校内においては、NIE研究グループとして設定してもらったが、グループ主任が全体を見通すことが十分にできなかったこともあり、学校全体への広がり是不十分だった。

2年目の来年度は、校内全体、生徒も先生がたも、今まで以上に“新聞”に気軽に接することができるような環境を整えるサポート面にも力を入れて行く必要を感じている。